

植物友の会活動記録

木原靖正

はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人たちの集まりで、植物公園を活動の場として、植物愛好者の集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを

目的に、昭和54年10月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額2,000円、家族会員が年額3,000円、法人の賛助会員が年額5,000円となっている。10月1日以降に入会の場合は、会費を半額とする規定を設けていて（賛助会員は除く）、今年度10月以降の入会は、15組（23人）の申込があった。

現在、会員数は個人会員が241人、家族会員が67組161人、企業等の賛助会員が27団体である。

表1. 平成16年度 植物友の会 事業記録

1. 行事の開催

月 日	事務事業	場 所	内 容		備 考
平成16年 5月1日(土)	講習会 ボランティア	大温室前広場	春の植物 公園 まつり	ハーブの香り袋作り教室 指導：会員4名	一般参加者60名
5月5日(水)				葉拓画教室 指導：会員8名	一般参加者120名
5月7日(金) 9時30分～12時	山草部会 展示準備	展示資料館 ロビー	山草部会展示物搬入		部会員18名 職員1名
5月8日(土) ～9日(日)	山草部会 展示	展示資料館 ロビー	山草部会展示		部会員18名 97点出品
5月9日(日) 13時20分～15時	例会①	植物公園講堂	スライド「球根植物と生産」 報告者：濱谷技師 夏の園芸作業と園内植物観察		会員118名 職員3名
5月15日(土)	観察会	島根県頓原町	大万木山の植物 講師：広島大学理学部助教授 山口富美夫氏		会員25名、職員3名
7月11日(日) 13時20分～15時	例会②	植物公園講堂	スライド「春の観察会大万木山の植物」 報告者：磯部専門員 園内植物観察		会員114名 職員3名
8月28日(土) 10時～12時 13時～15時	講習会①	植物公園講堂及び 小会議室	クラフトづくり 講師：中島十三子氏		会員17名
			コケ玉づくり 講師：今村撰氏		会員32名
9月3日(金)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展搬入		会員44名、職員1名
9月4日(土) ～9月9日(木)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展		展示監視13名、 会員44名 143点出品
9月5日(日) 13時20分～15時	例会③	植物公園講堂	スライド「浜名湖花博と植物園めぐり」 報告者：濱谷技師 秋の園芸作業		会員107名 職員3名
9月29日(水) 10時～12時	講習会②	植物公園園内	大温室ほかの植物解説 講師：広島大学名誉教授 関太郎氏		会員18名、職員2名
10月2日(土)	観察会	廿日市市吉和	細見谷の溪畔林 講師：広島大学大学院助教授 中坪孝之氏		会員30名、職員3名
10月30日(土)	講習会 ボランティア	大温室前広場	秋のグ リーンフ ェア	ハーブの香り袋作り教室 指導：会員5名	一般参加者62名
11月3日(水)				葉拓画教室 指導：会員7名	一般参加者106名
11月14日(日) 13時20分～15時	例会④	植物公園講堂	スライド・ビデオ「秋の観察会吉和細見谷 溪畔林の植物」報告者：山本課長補佐 冬の園芸作業		会員95名 職員2名
平成17年 1月9日(日) 13時20分～15時	例会⑤	植物公園講堂	スライド「鳥海山と月山の植物」 報告者：中島保廣氏		会員83名 職員3名
3月13日(日) 13時20分～15時	例会⑥	植物公園講堂	総会 春の園芸作業および園内植物観察		会員121名 職員4名

2. 会誌「はなの輪」の発行

平成16年4月	2004	通巻第99号	平成16年8月	2004	通巻第100号
平成16年10月	2004	通巻第101号	平成17年2月	2005	通巻第102号

表2. 平成16年度 植物友の会 ボランティア活動報告〔平成16年4月～12月〕

月 日	内 容	参加人数
4月 8日	カスケード用ハンギング作成と花がらとり	2名
4月10日	サクラソウ展ガイドと苗の配布	3名
4月11日	サクラソウ展ガイドと苗の配布	2名
4月17日	サクラソウ展ガイドと苗の配布	4名
4月18日	サクラソウ展ガイドと苗の配布	3名
4月18日	春まつり用花炭作り(花炭焼)	5名
4月19日	春まつり用花炭作り(袋詰め)	6名
4月20日	春まつり用花炭作り(仕分け)	2名
4月25日	はなの輪、例会等案内発送作業	8名
4月29日	花炭・葉拓画等の販売 〔春の植物公園まつり〕	5名
5月 1日	ハーブの香り袋作り教室の指導 花炭・葉拓画の販売〔春の植物公園まつり〕	4名
5月 2日	花炭・葉拓画等の販売 〔春の植物公園まつり〕	5名
5月 5日	葉拓画作り教室の指導 〔春の植物公園まつり〕	8名
5月 9日	秋まつり用葉拓画原本づくり	5名
5月13日	フラワーボールとプランター寄植作成	2名
5月27日	カスケードのコンテナ等植替と除草	9名
6月10日	カスケード、ヒマワリ園の除草と コンテナ作成	6名
6月19日	はなの輪、例会等案内発送作業、 秋まつり用葉拓画台紙作りと子ども花壇 除草等	10名
6月24日	ベゴニアの刈り込みとスイレン温室植替	2名
6月27日	カスケードのコンテナ(樹木)の施肥	1名
7月 8日	カスケードのサルビア剪定、植替、除草	3名
7月11日	秋まつり用葉拓画の準備	6名
7月15日	カスケードの除草とコンテナ等寄植	1名
7月22日	カスケード用寄植作成とコンテナ植替	1名
8月12日	カスケード植替とコンテナ、ハンギング	3名
8月25日	はなの輪、例会等案内発送作業	4名
8月26日	カスケード植替、コンテナ寄植、支柱立	4名
9月 5日	秋のグリーンフェア葉拓画講習会の準備	6名
9月 9日	カスケード植替とハンギング、コンテナ の寄植	4名

月 日	内 容	参加人数
9月14日	カスケード植物管理(支柱立て、剪定)	1名
9月16日	カスケード破損コンテナの植物移植と 側道整理	6名
10月 4日	ゲート前及び展示資料館前寄植コンテ ナの作成	2名
10月 7日	子ども花壇用パンジー苗ポット鉢移植	2名
10月 9日	子ども花壇用パンジー苗ポット鉢移植	1名
10月10日	子ども花壇用パンジー苗ポット鉢移植	2名
10月12日	カスケード展示用ラティス設置 子ども花壇用パンジー苗ポット鉢移植	4名
10月14日	カスケード植物植替、林道整備、コンテ ナ移植 子ども花壇用パンジー苗ポット上げ	5名
10月18日	花炭の製作(炭焼き)〔秋のグリーンフェ ア用〕 パンジー植替	7名
10月19日	花炭の製作(袋詰め)〔秋のグリーンフェ ア用〕	4名
10月21日	カスケード、進化園清掃とコスモス倒伏 立て直し ガーデニングコンテスト展示準備	6名
10月29日	はなの輪、例会等案内発送作業	4名
10月30日	葉拓画及びハーブの香り袋作り教室の 花炭、絵ハガキの販売〔秋のグリーン フェア〕	8名
10月31日	クラフト、苗の販売〔秋のグリーンフェ ア〕	6名
11月 3日	葉拓画教室の指導と販売〔秋のグリーン フェア〕	9名
11月 6日	コスモスの花摘みの受付	2名
11月11日	カスケード用ハンギング作成と草花苗	3名
11月21日	葉拓画年賀状作り講習会の指導	3名
11月25日	ベゴニア温室前のチューリップ植付	10名
11月30日	植物抜き取り・整地、フラワーボールの寄植	4名
12月 9日	カスケードの小花壇に草花を植付	3名
12月11日	カスケードの小花壇に草花を植付	1名
12月11日	夜間開園キャンドルへの着火作業	2名
12月16日	カスケードの草花植付とハンギング作成	4名
計		223名

活動 (表 1、2)

(1) 例会・運営委員会

2ヶ月に1回、植物公園で開催され、植物についてのビデオ、スライドや栽培講習、園内の案内、種苗交換などを実施した。

また、例会の事前調整が必要なことから、例会前に打ち合わせを行い、例会後も、運営委員会(委員8人)を開き、事業の執行計画や予算などについて毎回話し合った。

(2) 講習会

年2回。リースなどのクラフト作りやコケ玉作りのほか、平成16年度秋には、大温室やサボテン温室を会場とし、広島大学名誉教授 関太郎氏に



写真1. クラフト作り講習会(H16.8.28.)

よる植物解説を実施した。

(3) 観察会

年2回春と秋に、日帰りで実施。近郊の野山に出かけ、野生の草花や樹木を身近に観察するとともに、会員相互の親睦を図った。平成16年度は、春に島根県頓原町の大万木山へ、秋に廿日市市吉和の細見谷溪畔林へ出かけた。講師は、広島大学助教授 山口富美夫氏と中坪孝之氏。

(4) 展示会

年1回秋に、鉢物、写真、絵、クラフトなどを出品し、友の会作品展として開催している。平成16年度は143点の出品があった。また、5月、山草部会が鉢物を中心にロビー展を開いた。

(5) 園内ボランティア

植物公園において、表2のとおり、植栽、教室・講習会の指導、公園まつりの準備・販売、会誌の発送作業などを実施、幅広く活躍されている。特に春の植物公園まつりや秋のグリーンフェアには毎回参加され、花炭・絵ハガキなどの販売や葉拓画・ハーブの香り袋作り教室の指導をし、また、毎月第2、4木曜日は作業日としている。延べ人数は、平成14年に72名、平成15年に140名、



写真2. 観察会の様子(H16.10.2.)

平成16年に223名。人数、回数が著しく増えている。

(6) 会誌の発行

植物に関する話題や会の活動、植物の栽培方法などを載せた会誌「はなの輪」を年4回発行、会員に配布。通常は6ページのカラーだが、通巻第100号(平成16年8月25日発行)は、記念号として全ページをカラーにした。

(7) 部会

山歩クラブと山草部会がある。

前者は、毎月1回例会として近郊の山にでかけ、年1回県外遠征、総会、懇親会を行い、年4回の会報を発行している。会費は年額3,000円である。後者は、年2回野外観察会や展示会、2ヶ月に1回例会を開いている。会費は年額1,000円である。

主な課題と今後の方向

新しく入会しては、1~2年で退会する会員が多く、会員数はここ数年ほぼ横ばいに推移している。

今後は、新規会員を中心にアンケート等で要望をたずねたりして、事業内容をよりいっそう充実させ、会員の増加を図っていく必要がある。



写真3. 友の会作品展(H16.9.5)



写真4. 園内ボランティアの葉拓画教室(H16.11.3.)



写真5. 園内ボランティアのチューリップ球根植え付け(H16.11.25.)